

# カンキツ「せとか」の果面障害の実態と対策



カンキツ「せとか」は、果実や新葉（葉の表裏両面）、新梢の表面に、そばかす状症状が発生し、果実に多発した場合は出荷規格外品となります。

## 発生実態

- ・ 7月初旬から8月末に発生する。
- ・ 樹冠上部の外成り果や新梢で多発する。
- ・ 露地栽培で多発する。

（ハウス、多目的ネット被覆ほ場では発生しない。）

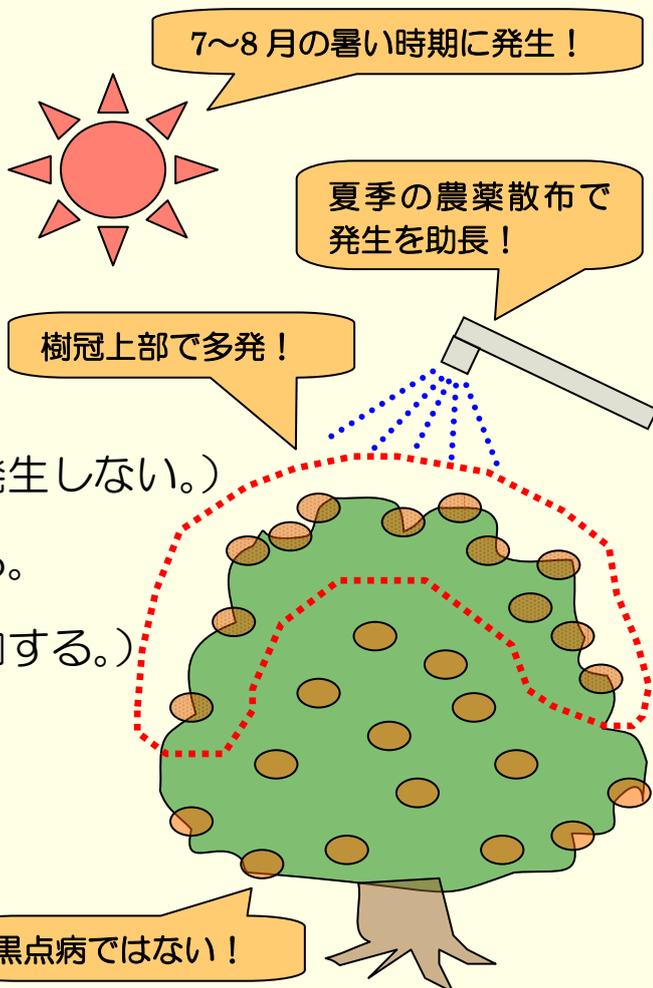
- ・ 夏季の農薬散布により症状が助長される。

（銅水和剤単用散布で顕著に発生が増加する。）

- ・ 黒点病菌による病害ではない。

（症状は黒点病と異なる。

被害新梢は伝染源とならない。）



## 発生軽減のための対策

- ① 夏季は果実温の高い日中の農薬散布を避ける。
- ② 7月以降は、網目5mmの多目的ネット被覆等を実施する。